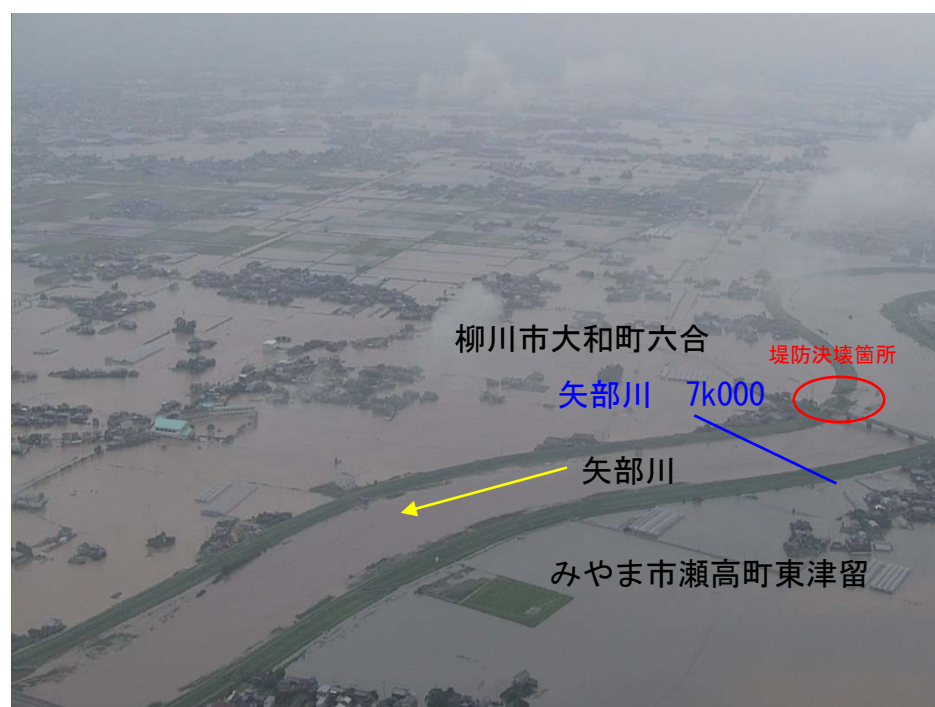


梅雨前線に伴う平成24年7月13・14日出水について（速報）  
（矢部川水系、筑後川水系、山国川水系、遠賀川水系、六角川水系）



やまとまち ろくごう  
矢部川7k300付近柳川市大和町六合地先

九州地方整備局

平成24年7月15日

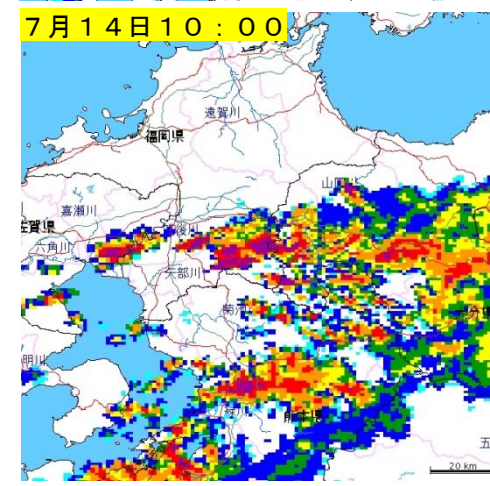
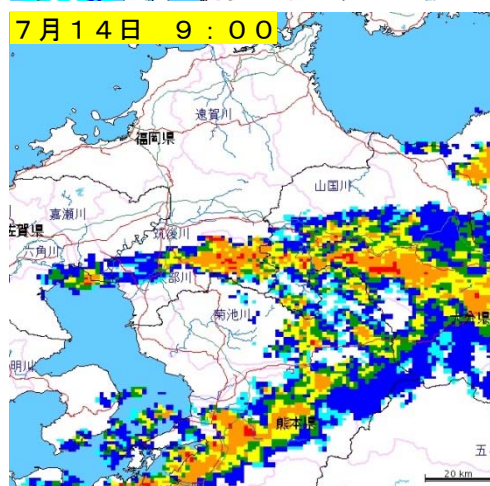
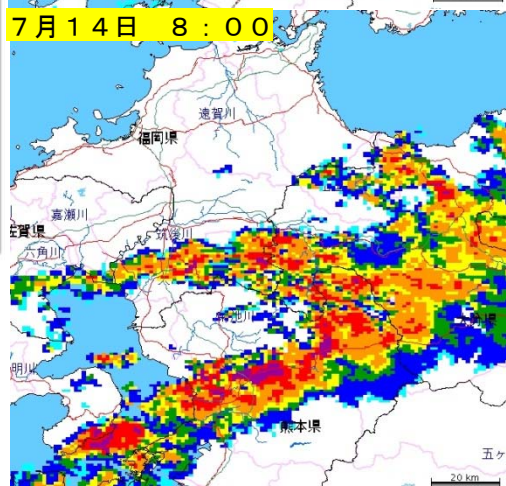
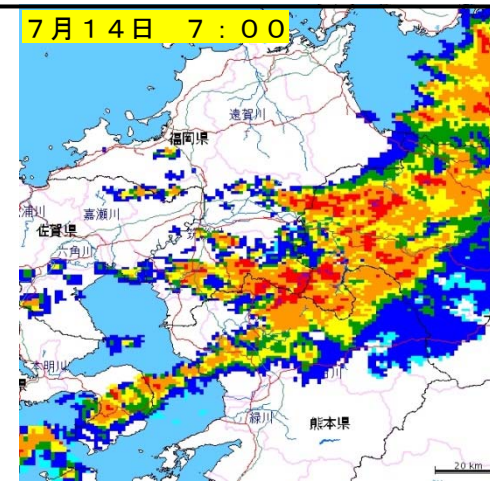
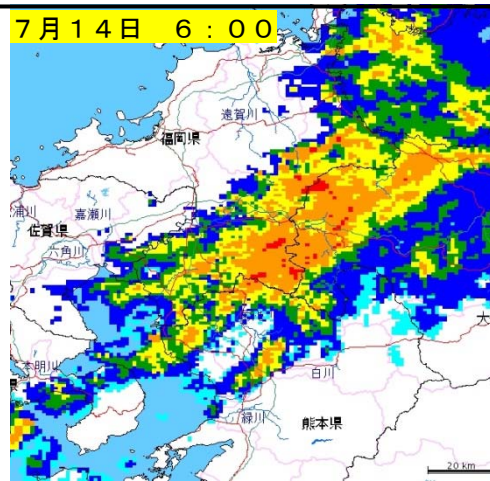
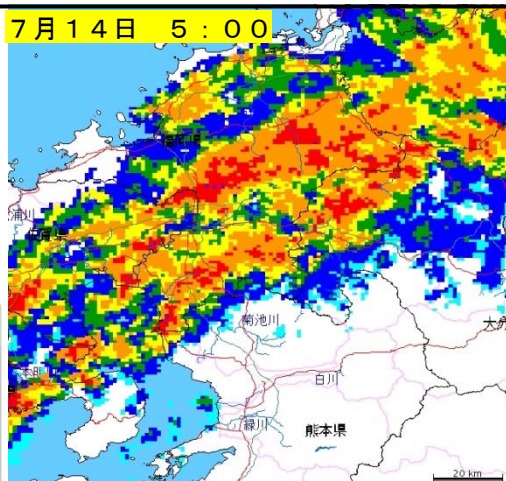
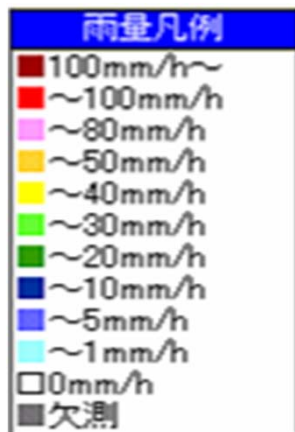
# 目 次

1. 降雨の概要①	1
降雨の概要②（矢部川流域の雨量）	2
2. 水位の概要①（矢部川水系矢部川）	3
水位の概要②その外の水系	4
水位の概要③（矢部川水系矢部川）	5
3 被災箇所位置図	6
4. 出水状況写真	8

# 1. 降雨の概要①

7月14日の未明から昼頃にかけて、北部九州に強い雨域がかかり、短時間に記録的な雨量を記録しました。

雨量レーダー



## ◆ 矢部川水系矢部川

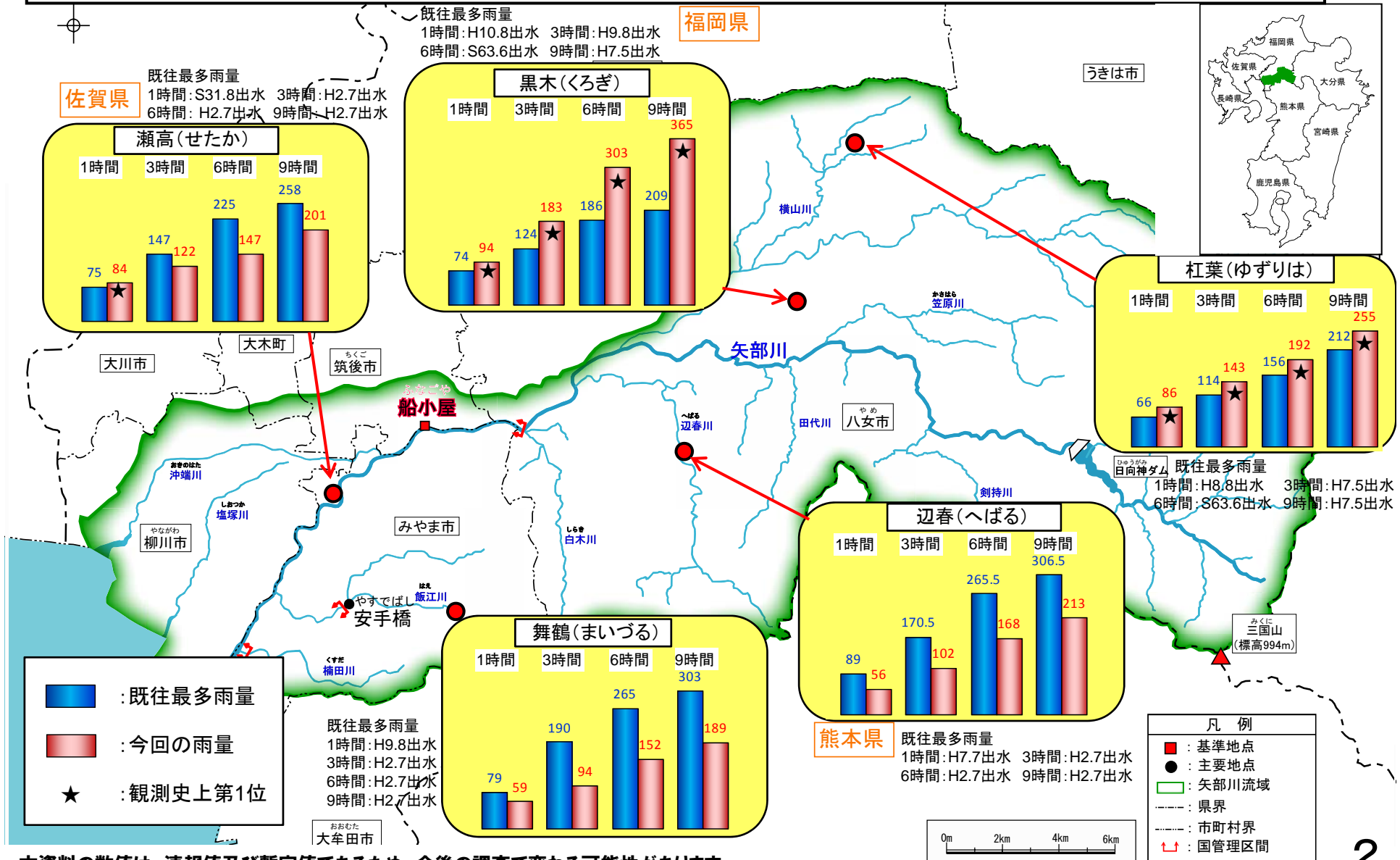
黒木雨量観測所 (福岡県八女市黒木町)

1時間雨量: **94mm** (7月14日 9:00～10:00) 観測史上第1位    3時間雨量: **183mm** (7月14日 8:00～11:00) 観測史上第1位  
 6時間雨量: **303mm** (7月14日 5:00～11:00) 観測史上第1位    9時間雨量: **365mm** (7月14日 1:00～10:00) 観測史上第1位



# 1. 降雨の概要②(矢部川流域の雨量)

矢部川流域では、黒木(くろぎ)雨量観測所(福岡県八女市黒木町)において、1時間雨量94ミリ、3時間雨量183ミリを記録したほか、3観測所で観測史上第1位の雨量を記録しました。



本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 2. 水位の概要①（矢部川水系矢部川）

矢部川流域では、船小屋(ふなごや)水位観測所（福岡県筑後市船小屋）において、観測史上第1位の水位を記録しました。

### ■最高水位

水位危険度 レベル	水系名	河川名	水位観測所	今回最高水位	既往最高水位
レベル 5	矢部川	矢部川	ふなごや 船小屋 ふくおかけんちくごし (福岡県筑後市)	9.56m 観測史上第1位	7.74m H2.7.2 12:05

水位危険度レベル5：はん濫が発生したとき

※船小屋水位観測所：S49年観測開始

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査でかわる可能性があります。

### ■水位に関する情報の発信(防災情報)

7月14日16時現在

水系名	水防警報	洪水予報	市町村長へのホットライン
やべがわ 矢部川	7回	5回	みやま市、柳川市、 <small>やながわ</small> 筑後市、 <small>ちくご</small>

※水防警報、洪水予報は、支川の発令回数を含んでいます。

#### ■水防警報

水防団の出動等の判断に必要な情報を市町村長に通知するものです。

#### ■洪水予報

避難勧告や住民の避難行動の目安となる情報を市町村長や一般に周知するものです。

#### ■ホットライン

避難勧告の参考となる水位情報を直接首長等へ伝達するものです。

## 2. 水位の概要②（その外の水系）

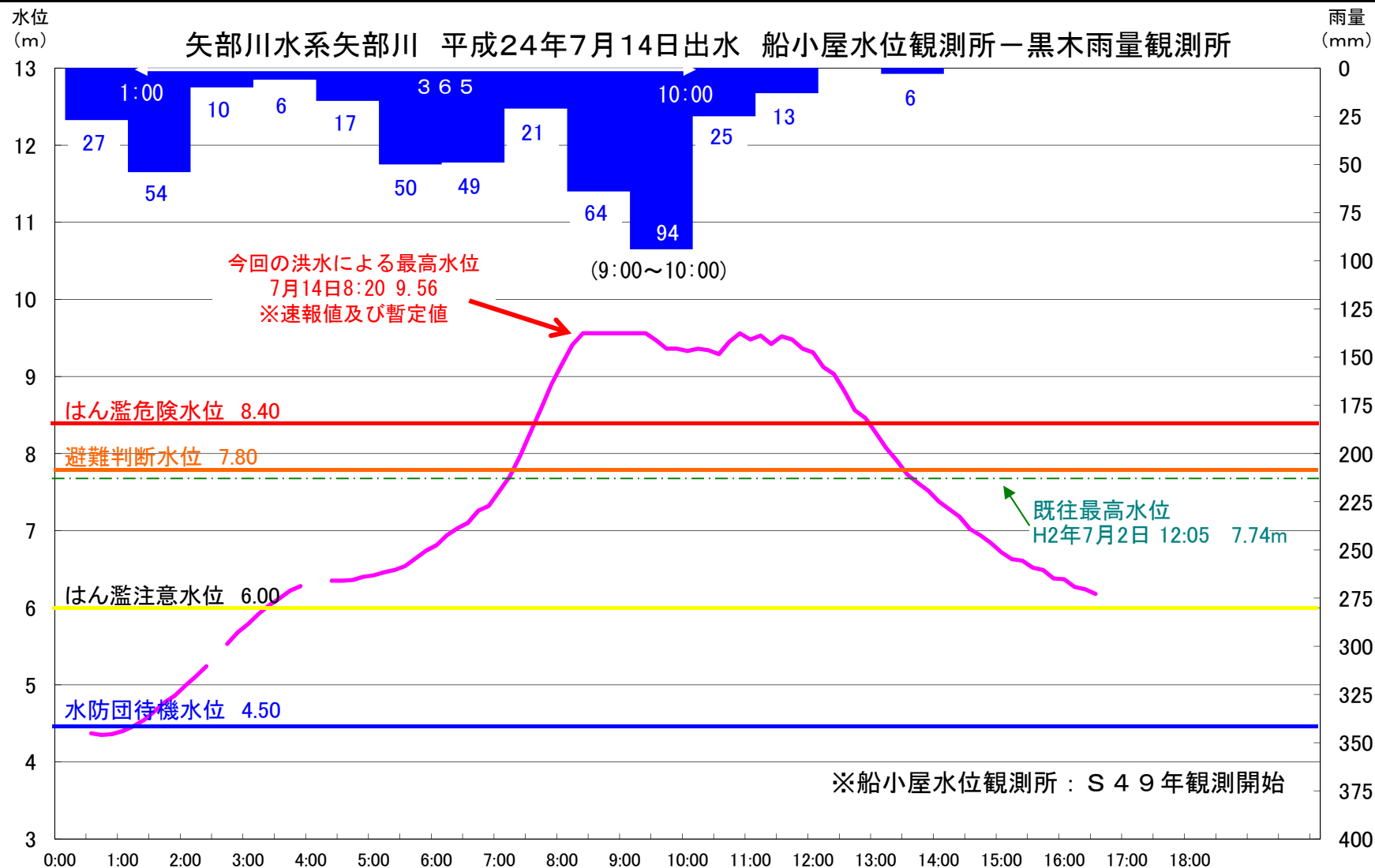
梅雨前線の活発な活動により、北部九州の5水系においてははん濫危険水位を超え、筑後川水系、山国川水系では越水によるはん濫がおきました。また、3水系において観測史上第1位の水位を記録しました。

水位危険度	水系名	河川名	水位観測所	今回最高水位(m)		既往最高水位
				値	時間	
レベル5	筑後川	花月川(かげつがわ)	花月(かげつ)	<u>4.37</u>	7月14日 7:30 (観測史上第1位)	既往最高4.16m(H24.7.03) ※S29年以降観測
		隈ノ上川(くまのうえがわ)	西隈ノ上(にしくまのうえ)	<u>3.36</u>	" 7:10 (観測史上第1位)	既往最高2.71m(H19.7.6) ※S39年以降観測
		巨瀬川(こせがわ)	中央橋(ちゅうおうばし)	<u>2.97</u>	" 8:40	既往最高3.79m(H22.7.14) ※S37年以降観測
	山国川	山国川(やまくにがわ)	下唐原(しもとうばる)	7.14	7月14日 8:30 (観測史上第2位)	既往最高7.46m(H24.7.03) ※S19年以降観測
レベル4	遠賀川	遠賀川(おんががわ)	日の出橋(ひのでばし)	<u>8.17</u>	" 8:30 (観測史上第1位)	既往最高8.08m(H22.7.14) ※S26年以降観測
		彦山川(ひこさんかわ)	伊田(いた)	<u>4.14</u>	" 7:20	既往最高4.63m(S55.8.30) ※S31以降観測
		中元寺川(ちゅうがんじがわ)	春日橋(かすがばし)	<u>4.97</u>	" 6:00 (観測史上第1位)	既往最高4.09m(S58.7.5) ※S37年以降観測
	矢部川	飯江川(はえがわ)	安手橋(やすでばし)	<u>6.02</u>	" 11:30(観測史上第1位)	既往最高4.60m(H19.7.7) ※S49年以降観測
	筑後川	筑後川(ちくごがわ)	荒瀬(あらせ)	<u>7.41</u>	" 8:20 (観測史上第1位)	既往最高6.97m(S54.6.29) ※S37年以降観測
		小石原川(こいしわらがわ)	栄田橋(さかえだばし)	<u>3.85</u>	" 6:50 (観測史上第1位)	既往最高3.79m(H22.7.14) ※S29年以降観測
	六角川	牛津川(うしづがわ)	妙見橋(みょうけんばし)	5.88	7月13日 15:20(観測史上第2位)	既往最高6.04m(H2.7.2) ※S37年以降観測

※本資料の数値は速報値及び参考値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

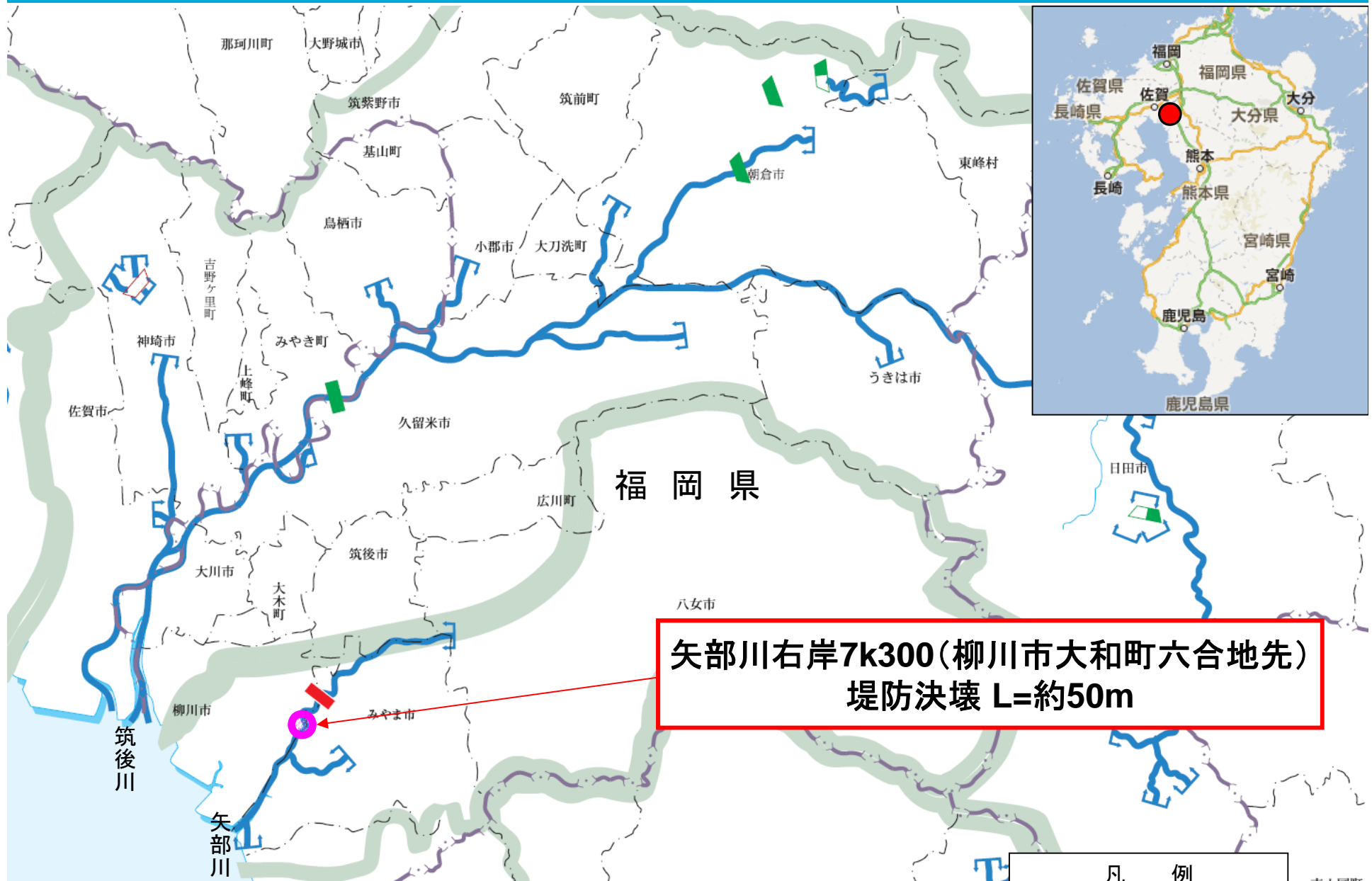
## 2. 水位の概要③（矢部川水系矢部川）

黒木(くろぎ)雨量観測所において、7月14日の9時から10時までの1時間に94ミリ、1時から10時までの9時間に365ミリを記録し、船小屋(ふなごや)水位観測所では、観測史上第1位の水位を記録し、長時間にわたり高い水位が続きました。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

### 3. 被災箇所位置図①（矢部川水系矢部川）



凡 例  
● 被災箇所



### 3. 被災箇所位置図② (矢部川水系矢部川)



## 4. 出水状況写真①（矢部川水系矢部川）

7月14日14:30時点 矢部川右岸7k300(堤防決壊状況)





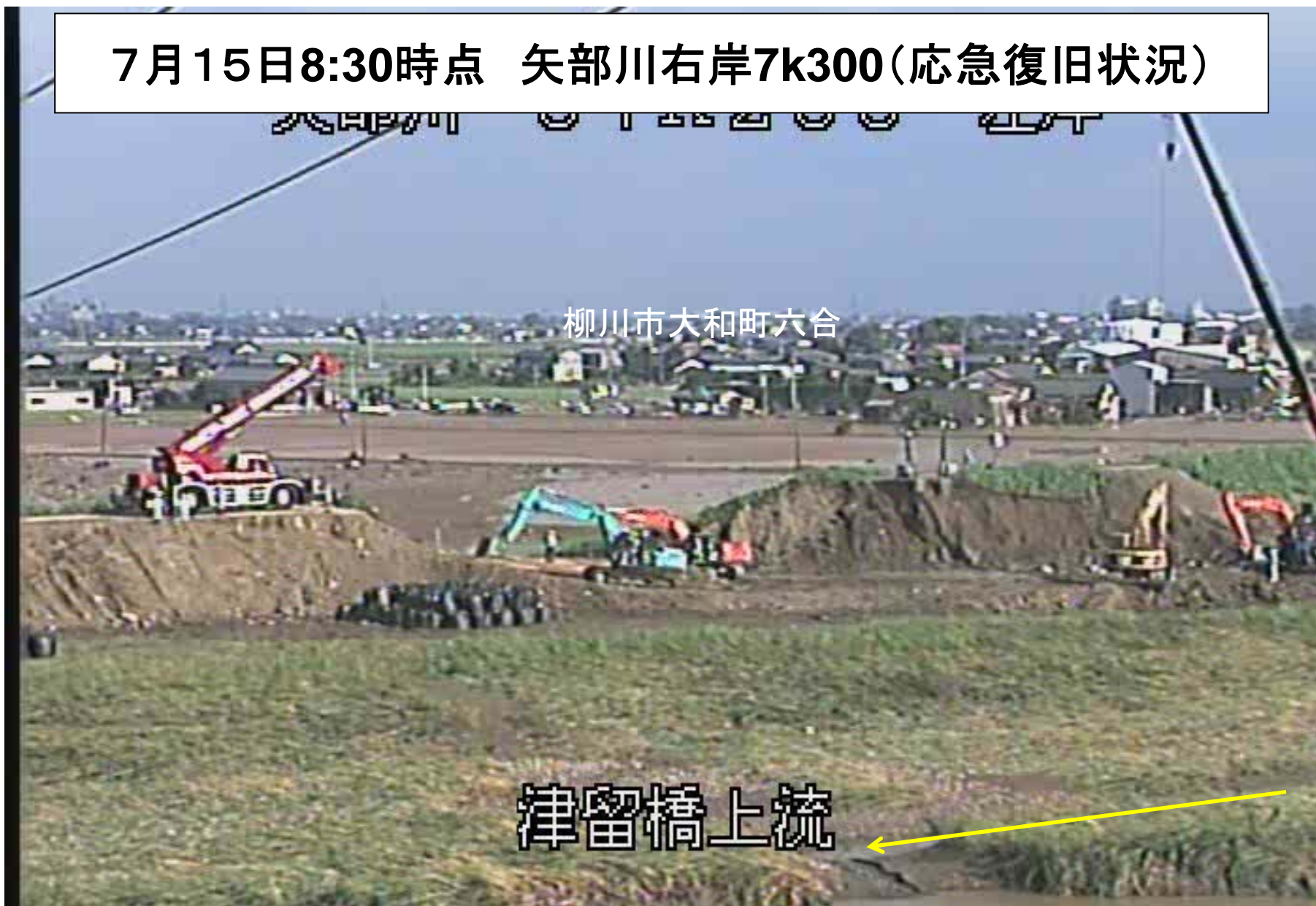
## 4. 出水状況写真②（矢部川水系矢部川）

7月14日18:20時点 矢部川右岸7k300(応急復旧状況)



## 4. 出水状況写真②（矢部川水系矢部川）

7月15日8:30時点 矢部川右岸7k300(応急復旧状況)





## 4. 出水状況写真②（矢部川水系矢部川）

7月15日11:30時点 矢部川右岸7k300(応急復旧状況)





# 4. 出水状況写真③(筑後川水系花月川 8k000付近)

## 地蔵元橋下流の流下状況





# 4. 出水状況写真④(六角川水系牛津川)

## 牛津川流下状況

